

(報告) 大雪による電気設備への影響について

平成26年3月10日
 商務流通保安グループ
 電力安全課

今冬の大雪による電気設備への影響は、以下のとおり。

1. 2月7日から9日にかけての大雪による影響

(参考：最深積雪(極値・順位を更新した観測所)(2/10 9:00時点))

- ・熊谷：43 cm (歴代2位)、千葉：33 cm (歴代1位)、前橋：33 cm (歴代3位)、
 東京：27 cm (歴代8位) (出典：気象庁資料)

- ・全国の延べ停電数は、約1,355千戸。
 (2月24日14:00頃に全ての停電が解消。)
- ・降雪に伴う設備被害状況について(電気事業連合会調べ)
【対象期間】 平成26年2月8日(土)0時 ~ 2月13日(木)24時

会社名	延べ停電戸数(千戸)	送電設備	配電設備	
			電柱折損/倒壊(基数)	高圧線断線(箇所)
北海道	—	—	—	—
東北	19.0	—	0	15
東京	1,307.0	断線：1線路	20	60
中部	6.2	—	2	7
北陸	—	—	—	—
関西	3.9	—	1	4
中国	17.0	—	0	3
四国	2.1	—	0	8
九州	0.1	—	1	13
沖縄	—	—	—	—
全国計	1,355.3	断線：1線路	24	110

<主な設備被害要因>

- ・積雪による倒木に伴う、電柱折損・倒壊および高圧線断線・接触
- ・雪による送電線断線

2. 2月14日から16日からの大雪による影響

(参考：関東甲信の主な最深積雪（観測史上1位を更新（東京を除く））

- ・菅平（長野県）：152 cm、河口湖（山梨県）：143 cm、甲府（山梨県）：114 cm、
軽井沢（長野県）：99 cm、秩父（埼玉県）：98 cm、東京（千代田区）：27 cm

(出典：非常災害対策本部資料)

- ・全国の延べ停電数は、約1,815千戸。

(2月25日14:14頃に全ての停電が解消。)

- ・降雪に伴う設備被害状況について(電気事業連合会調べ)

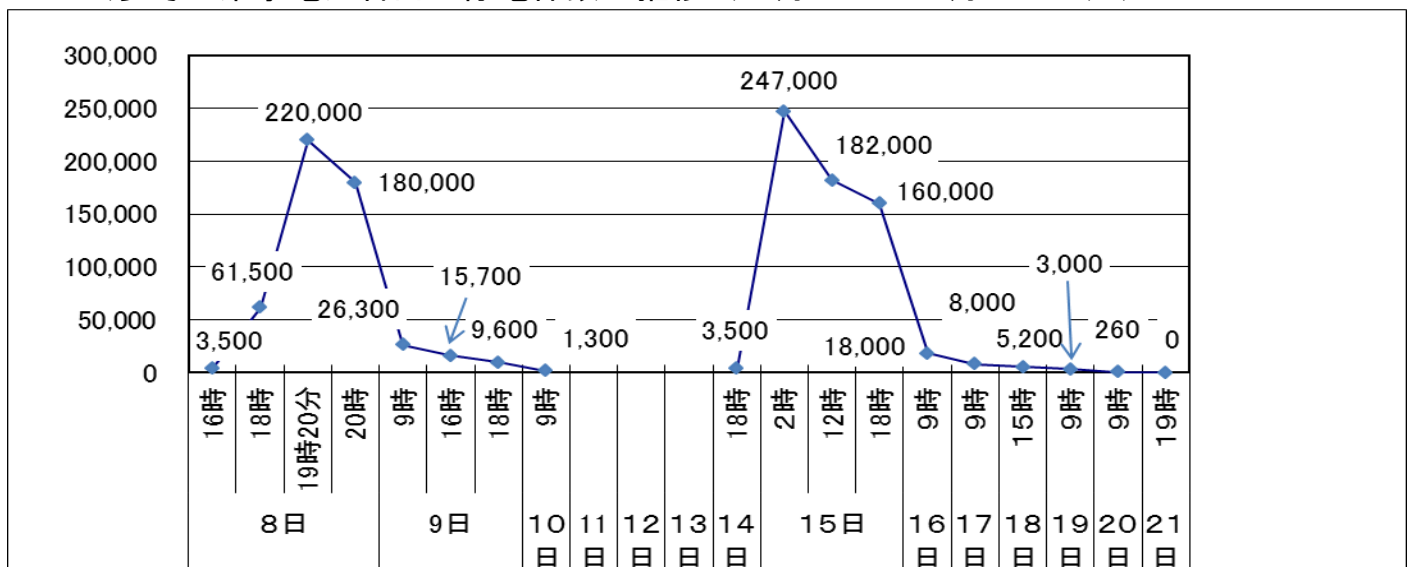
【対象期間】平成26年2月14日(金)0時～2月25日(火)14時

会社名	延べ停電戸数(千戸)	送電設備	配電設備	
			電柱折損/倒壊(基数)	高圧線断線(箇所)
北海道	1.9	—	0	3
東北	98.0	断線：2線路	10	76
東京	1,593.0	地線腕金変形：1基	210	360
中部	40.5	断線：2線路	66	464
北陸	0.4	—	0	0
関西	26.3	—	13	64
中国	—	—	—	—
四国	5.4	—	0	5
九州	49.3	—	60	187
沖縄	—	—	—	—
全国計	1,814.8	断線：4線路 地線腕金変形：1基	359	1,159

<主な設備被害要因>

- ・積雪による倒木に伴う、電柱折損・倒壊および高圧線断線・接触
- ・雪による送電線断線、地線腕金変形

(参考：東京電力管内の停電件数の推移(2月8日～2月21日))



3. 国の主な対応（電気保安関連）

- ・ 2月14日 ・大雪等の対応に係る関係省庁災害警戒会議を開催。
- ・ 2月18日 ・豪雪非常災害対策本部を設置（内閣総理大臣指示により格上げ）
（以後、非常災害対策本部会議を計9回開催）
 - ・ 山梨県に非常災害現地対策本部を設置（当課から職員を派遣）。
 - ・ 経済産業省 豪雪非常災害対策本部を設置。
 - ・ 当省から、電気事業者に対して、停電解消に向けた作業に全力を挙げることを要請。
- ・ 2月24日 ・ 今回の雪害による停電長期化を踏まえて、当省から、電気事業連合会に対して、抜本的な対策や復旧迅速化などを早急に検討するよう指示。
- ・ 2月25日 ・ 雪害による全ての停電の解消を確認。

4. 今後の予定

- ・ 今般の大雪による電気設備への影響の総括及び今般の教訓を踏まえた今後の対応策を、電気設備自然災害等対策WGの場を活用して検討する。

以上